

※注意：このシートは横浜市の
ホームページ等で公開されます。

No. 36

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）①

フリガナ	スズキ チカコ			
氏名	鈴木 智香子			
派遣希望区	<input checked="" type="checkbox"/> 市内全域 <input type="checkbox"/> () <input checked="" type="checkbox"/> (区)			
支援専門分野（注1）		支援専門分野の内容		
ルール又は プランづくり等	<input type="radio"/>	建築協定 地区計画 地域まちづくりルール <input checked="" type="checkbox"/> 地域まちづくりプラン 景観協定 景観計画 <input checked="" type="checkbox"/> まち普請事業 その他 ()		
市街地開発事業等		再開発 区画整理		
防災まちづくり等		まちの不燃化推進事業 共同建替え 防災マップづくり 耐震改修 狭あい道路整備 防災広場整備		
その他関心のある テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 防犯 <input checked="" type="checkbox"/> 商店街活性化 <input checked="" type="checkbox"/> 水・緑 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> アート <input type="checkbox"/> 地域交通 <input type="checkbox"/> 福祉 <input type="checkbox"/> 教育 その他 (<input type="checkbox"/> コミュニティカフェ)			
※得意とする支援の内容・関心のあるテーマを丸印で囲んでください（複数回答可）。該当するものが無い場合は、その他の欄に記入してください。				
所属するまちづくり支援団体	<input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> 横浜プランナーズネットワーク			
※横浜市に登録されたまちづくり支援団体に所属している場合は、団体名を記入してください。				
支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。
	街普請	大倉山	H25～	商店会の空きスペースを利用して、地域の人、町内会とともに、地域情報の発信拠点を作る事業を支援 ・情報誌、ホームページ、などの作成・更新 ・イベント企画、運営 ・商店会と、地域、企業をつなぐ窓口を作る
	商店会活性化	大倉山	H23～	商店会が始めた、養蜂事業のアンテナショップの運営を通して、コミュニティカフェを開設 ・イベント企画、運営 ・地域住民グループの組織づくりの支援が街普請事業への拡がりにつながった

（注1）支援分野は、横浜市まちづくりコーディネーター等の登録等に関する要綱の別表第1を参照してください。

※注意：このシートは横浜市の
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支援専門分野に関する支援の実績等	コミュニティカフェ運営	市内 川崎市 平塚市	H27～	横浜コミュニティカフェネットワークの立ち上げにかかわり、世話人として運営に参加 ・コミュニティカフェ開設支援、開設講座 ・認知症カフェをケアプラザなどと連携して開設 ・コミュニティカフェフォーラムの開催
	空き屋活用	港北区大豆戸	H24～	空き家活用の実践 ・カフェ開設支援、HPによる広報支援 ・講座・ワークショップ・フェスタの運営支援、 ・空き家を活用して家主とともに、地域の交流の場づくりをすすめる
	公園遊びの会	新横浜	H19～	公園の利活用 ・公園遊びの会おるたんの立ち上げ、 ・出張公園遊び（海老名市、川崎市麻生区） ・野外遊び、プレーパークといった、子供を中心とした体験の場づくりをH13から進めている。
	防災	港北区	H26～	港北区災害ボランティア協議会会員として、地域防災の取り組みに参加

【まちづくりに関するPR】

- ・野外遊び・公園遊び、コミュニティカフェ運営、商店会コンシェルジュなど、現場をもって実践をしながら、街づくりNPOを立ち上げ、地域の人と一緒に街づくり活動を進めてきた。
- ・港北区大倉山をフィールドとして、様々な街づくり活動を進める中から、コミュニティカフェ開設講座、出張公園遊びといった出前ワークショップを重ね、他の地域へのノウハウ移転も進めている。自分でも運営する現場を持っているので、運営者の気持ちに寄り添う支援ができる。
- ・地域資源を生かし、地域の情報発信を丁寧に進めることで、新しい地縁の構築や、担い手の発掘、街の活性化につながることを実感している。
- ・認知症カフェ、子ども食堂など、多世代、多様な人の集まる場づくりを一貫して進めている。